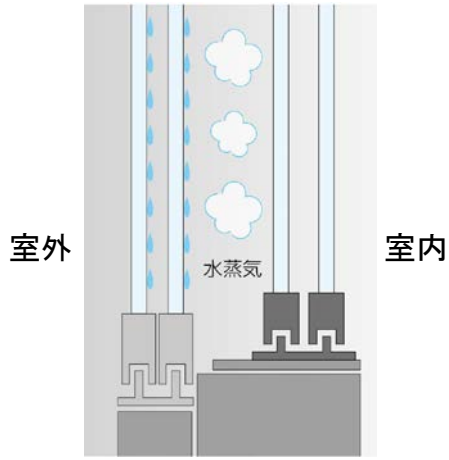


■「プラマードU」取付け時の外窓(既設サッシ)の結露について



「プラマードU」を取付けても、外窓(既設サッシ)に結露が発生することがあります。「プラマードU」の防露性は、内窓(「プラマードU」)の結露を大きく減少させる効果がありますが、室内の湿気を含んだ空気が内窓と外窓の間に閉じ込められることで冷やされた外窓に結露が発生することがあります。二重窓の防露効果は、内窓の結露の発生を減少させることです。結露は自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではないことをご了承ください。また、内窓を少しだけ開けたまま暖房をすると、内窓と外窓の間に熱が伝わりにくい一方、水蒸気が入り続けるので、内窓と外窓の間に結露が発生しやすくなります。暖房時は、内窓をきちんと閉めてください。

既設サッシ+プラマードU

■内窓と外窓の間の温度上昇について

内窓と外窓を長時間閉めた状態にしておくと、外部環境によっては内窓と外窓の間の空間が高温になる場合がありますので少し開けて換気を行ってください。

内窓と外窓の間の空間が高温になることで起こりうる現象

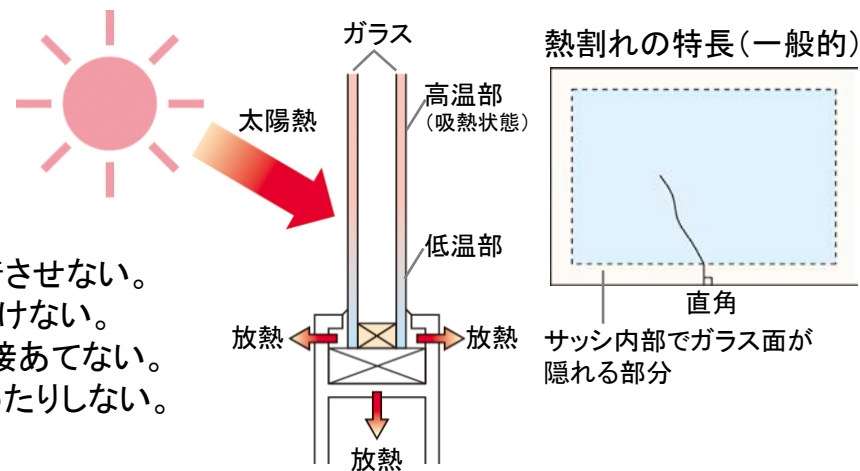
- ①樹脂材の変形・収縮
- ②樹脂材の変色(熱+直射日光による)
- ③ガラスの熱割れ

■ガラスの熱割れについて

ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。この熱膨張差がガラスの持っている“強度”を超えた場合、ガラスが割れることとなります。この現象が“熱割れ”と呼ばれ、外窓が網入ガラスの時や外窓・内窓共にLow-E複層ガラスの場合に発生することがあります。

熱割れを予防するポイント

- ①ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
- ②ふとんや座ぶとん等をガラスに立てかけない。
- ③暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接あてない。
- ④ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
- ⑤室内に熱だまりをつくらない。



■日常使用時のご注意について

「プラマードU」は、既存の外窓の室内側に取付ける内窓です。外窓のように高い水密性能や耐風圧性能をもっていませんので、以下のことにご注意の上ご使用ください。



雨水の浸入防止は外窓で行いますので、雨降りの場合は、必ず外窓を閉めて施錠してください。

風の強い時は、外窓を必ず閉めてください。また外窓を開けた状態で「プラマードU」を閉めないでください。風圧により、「プラマードU」が変形したり破損するおそれがあります。

マンションなどの高層階では、台風などの強風時に、玄関ドアや窓を開ける時は外窓を閉め、「プラマードU」を少し開けてください。台風などの強風時に、玄関ドアや窓が開くと、急激な圧力により「プラマードU」が変形したり破損するおそれがあります。

■格子入複層ガラスの音鳴りについて

本商品は、窓の開閉時の衝撃や振動などにより、複層ガラス内の格子が一時的に振動することで、格子とガラスが接触し、音を発することがあります。商品の不具合ではありませんのでご了承ください。